

2013年12月27日

交野市長 中田 仁 公 殿

L A S - E 判定委員会

副委員長 山本 武
委員 山本 若華
委員 西脇 居則
委員 西野 雅也

LAS-E判定結果について

1. 申請自治体

大阪府交野市

2. 申請類型区分

第2ステージ・第1ステップ

3. 合否判定結果

L A S - E 判定委員会において、上記類型区分において規格に準拠しているかどうかを討議した結果、貴自治体の取り組みを次のように判定しました。

合 格

なお、所見につきましては、別紙で通知いたします。

所見

<全般的な事項>

交野市の環境に関する取り組みがL A S-E第2ステージ・第1ステップの規格に準拠しているか、また監査チームが適正に監査を行っているかについて審議した結果、合格と判定しました。

まずは環境施策・事業を市民が点検し評価する第2ステージへ一歩踏み出されたことを評価します。

<第2ステージについて>

現在の独自目標は、総合計画から環境分野に関わる事業を抽出してきて当てはめたように見えますが、最終的には総合計画を市民参加で進行管理することも意識しつつ、どのようにしたら実現可能か、途中段階としての第2ステージをどう構築するかを検討されると良いと思います。

また、第2ステージの独自目標を見ると、これに関わる部署が一部のみになっているために他の部署では第2ステージだということが感じられない、限定的なものになっていないでしょうか。

L A S-Eに取り組むことで確実に変わっていくような仕組み、たとえば現在は各部署でエコオフィスに関する数値目標としてのモアチャレンジを1つ以上設定することになっています。さらにステップアップして、環境基本計画の中で謳われている総合ビジョン「市民一人ひとりが輝く『みんなのかたの』は美しく・やさしく・たのしい環境のまち」あるいは分野別ビジョンと本業を関連づけた目標を設定してはいかがでしょうか。独自目標審議の際には、そのような視点も入れて設定されると良いと思います。

共通実施項目監査報告書にも、楽しく工夫して取り組んでいる職場が広がることで取り組む市民が増えていくのではないかと書かれており、交野市らしい第2ステージになっていくことが期待できます。

<その他>

交野市に限りませんが、独自目標にある温室効果ガス排出量は電力の排出係数に左右されるので、公表する際は排出係数も明示することをご検討ください。